

平成17年度 使用済燃料受入れ計画について

変更前 (平成17年9月14日公表の内容)	受入れ数量(合計値) 約434トU			
	(内訳)			
	受入時期	受入れ数量	輸送容器型式・基数	搬出元
	第1四半期	BWR 燃料 88体・約15トU BWR 燃料 190体・約33トU	NFT-22B型・4基 NFT-38B型・5基	東北電力(株) 女川原子力発電所 東京電力(株) 福島第二原子力発電所
	第2四半期 第3四半期	PWR 燃料 42体・約17トU BWR 燃料418体・約72トU BWR 燃料 152体・約26トU BWR 燃料 64体・約11トU PWR 燃料 30体・約12トU PWR 燃料 84体・約34トU PWR 燃料 42体・約17トU PWR 燃料 56体・約26トU	NFT-14P型・3基 NFT-38B型・11基 NFT-38B型・4基 NFT-32B型・2基 NFT-10P型・3基 NFT-14P型・6基 NFT-14P型・3基 NFT-14P型・4基	北海道電力(株) 泊 発電所 東京電力(株) 福島第二原子力発電所 中部電力(株) 浜岡原子力発電所 中部電力(株) 浜岡原子力発電所 関西電力(株) 美浜発電所 四国電力(株) 伊方発電所 九州電力(株) 玄海原子力発電所 日本原子力発電(株) 敦賀発電所
第4四半期	BWR 燃料 342体・約59トU BWR 燃料 152体・約26トU PWR 燃料 30体・約12トU PWR 燃料 70体・約32トU BWR 燃料 88体・約15トU PWR 燃料 70体・約28トU	NFT-38B型・9基 NFT-38B型・4基 NFT-10P型・3基 NFT-14P型・5基 NFT-22B型・4基 NFT-14P型・5基	東京電力(株) 福島第二原子力発電所 中部電力(株) 浜岡原子力発電所 関西電力(株) 美浜発電所 関西電力(株) 大飯発電所 中国電力(株) 島根原子力発電所 九州電力(株) 玄海原子力発電所	
(注：受入れ数量の各社のトンUならびに合計値は、それぞれ端数処理した値)				
変更後	受入れ数量(合計値) 約425トU			
	(内訳)			
	受入時期	受入れ数量	輸送容器型式・基数	搬出元
	第1四半期	BWR 燃料 88体・約15トU BWR 燃料 190体・約33トU	NFT-22B型・4基 NFT-38B型・5基	東北電力(株) 女川原子力発電所 東京電力(株) 福島第二原子力発電所
	第2四半期	PWR 燃料 56体・約25トU	NFT-14P型・4基	日本原子力発電(株) 敦賀発電所
第3四半期	PWR 燃料 42体・約17トU BWR 燃料266体・約46トU BWR 燃料 152体・約27トU BWR 燃料 64体・約11トU PWR 燃料 30体・約12トU PWR 燃料 84体・約34トU PWR 燃料 42体・約17トU	NFT-14P型・3基 NFT-38B型・7基 NFT-38B型・4基 NFT-32B型・2基 NFT-10P型・3基 NFT-14P型・6基 NFT-14P型・3基	北海道電力(株) 泊 発電所 東京電力(株) 福島第二原子力発電所 中部電力(株) 浜岡原子力発電所 中部電力(株) 浜岡原子力発電所 関西電力(株) 美浜発電所 四国電力(株) 伊方発電所 九州電力(株) 玄海原子力発電所	
第4四半期	BWR 燃料 96体・約17トU BWR 燃料 342体・約59トU BWR 燃料 152体・約26トU PWR 燃料 30体・約12トU PWR 燃料 70体・約32トU BWR 燃料 88体・約15トU PWR 燃料 70体・約28トU	NFT-32B型・3基 NFT-38B型・9基 NFT-38B型・4基 NFT-10P型・3基 NFT-14P型・5基 NFT-22B型・4基 NFT-14P型・5基	東京電力(株) 福島第一原子力発電所 東京電力(株) 福島第二原子力発電所 中部電力(株) 浜岡原子力発電所 関西電力(株) 美浜発電所 関西電力(株) 大飯発電所 中国電力(株) 島根原子力発電所 九州電力(株) 玄海原子力発電所	
(注：受入れ数量の各社のトンUならびに合計値は、それぞれ端数処理した値)				

：主な変更点

(変更理由)

- 東京電力(株)福島第二原子力発電所において輸送容器保管建屋天井クレーンに不具合があった影響により、一部の搬出作業が出来なかったことに伴い、使用済燃料の輸送計画について関係者間で調整した結果、第3四半期に計画していた福島第二原子力発電所からの受入れ数量を約72トUから約46トUに変更すると共に、第4四半期に東京電力(株)福島第一原子力発電所から約17トUの受入れを新たに計画した。